

2018(平成30)年度 鳥取県理容美容専門学校自己評価表

学校目標	高いプロ意識を持ち、お客様とのコミュニケーションを第一に、専門的な知識と技量の向上に努め、社会で自立し活躍する理容師・美容師を育成する。
生徒目標	・プロを目指し、プロとして振る舞い、プロになる ・お客様に喜ばれ、満足され、信頼されるステキな理容師・美容師となる
学校テーマ	キレイのプロはTORIBIで生まれる

評価項目	現状と課題	目標達成のための方策と成果	評価
・教育課程編成に関する評価	○「理容師・美容師養成施設における養成課程の標準的なカリキュラム」(厚生労働省)に則った教育課程を編成 ○選択必修科目にはビジネススキルの基礎となる「ビジネスマナー」、理美容技術の幅広い基礎につながる「ネイル」「メイク」「エステ」「着付け」等の課目を設置し、社会人としての教養や将来の専門分野に対する選択の幅を拡げている	○国家試験受験に必要な教科課目の履修と修得を達成し、全員が国家試験を受験している ○国家試験合格率は今年度95%(全国平均91%) 100%合格を達成するために、より綿密な指導を行っていく ○生徒全員が理美容技術の幅広い基礎を学ぶことを意味する本校の「トータルビューティ」への理解が浸透しつつある	B
・授業内容と研修に関する評価	○各専門分野における実務経験豊富な講師による授業を多く開設し、安心して国家試験受験に対応することができている ○国家試験の受験と合格を目標とする、オーソドックスな授業内容のみに留まっているきらいがある ○授業で学んだ技術を校外で実践できるような経験の場が、県外の学校に比して少ない現状は否めない	○国家試験に対応する授業内容は、今後も丁寧な指導と新しい内容に対する対応を進めていく ○コンテスト、ボランティア活動など、経験の場を積極的に生かしていく ○新課程による試験内容への対応を適切に行うための職員研修を重ねる	B
・生徒募集と生徒指導に関する評価	○理美容系の専門学校へ進学する県内高校生の7割が県外へ進学している ○地域からの本校に対する認知、評価はまだ低い ○学習に対する意欲、習熟度に生徒個々の差が大きく、欠席時間数が増える生徒への対応に苦慮することがある	○少人数での学び、落ち着いた学習環境、資格取得と就職率の高さなど、本校の特色や学習成果をさらに積極的に広報していく ○教科指導だけでなく、教員の生徒理解や生徒指導に関する研修を行い、スキルを高める	C
・学校の施設・設備、その他教育環境に関する評価	○建物、授業用施設・設備は老朽化が進み、機器類の故障や旧式化が目立つようになっている ○校舎内の環境は日々の清掃が比較的丁寧に行われており、目立った汚れもなく、清潔感は保たれている ○用具の整理整頓、効率的な活用等にはまだまだ工夫の余地がある ○特に目立った被害は発生していないが、学校安全のために防犯カメラ設置の必要性を感じる	○学校営繕費の効果的な運用を工夫し、生徒の授業環境に直接かわる設備から優先的・計画的に更新を図っていく ○建物を含めた学校全体の環境に関しては、サロンワークにつながる整理整頓や丁寧な清掃を心掛け、建物は古くても清潔感のある環境を作り上げていく ○学校安全を含めた学校の環境整備には学校後援会からの協力も得て充実化を進めていく	B
・その他学校運営全般に関する評価	○学校創立以来60年を超える歴史がありながら、地域からの本校に対する認知や評価が低く、昔ながらの学校運営、イメージに甘んじている ○中高生の進学先として、中学・高校あるいは生徒保護者からの評価が低いままとなっている ○理事会、学校教職員、生徒ともに教育目標に対する共通理解がなされておらず、学校全体の活性化が遅れている	○専門的な職業人を育成する教育機関として、時代の要請に適應する教育目標、教育環境の整備を進める ○地元の若者を有為な人材に育てる、地元の教育機関としての役割と責任を明確にし、将来地元で活躍する人材、県外で活躍する人材、ともに地域社会に密着しながら信頼を得て活躍する人材として育成する ○理事会、教職員、生徒が本校で学ぶ目的、専門的職業人として活躍する将来ビジョンを共通に理解し、学校の活性化を進める	C

A: 概ね目標を達成 B: 目標を達成している部分、不十分な部分ともにある C: 目標達成が概ね不十分